

第2回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成25年5月22日（水）午後2時30分～

ところ 京都府医師会館 2F 212・213会議室

△森会長挨拶

森府医会長は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」第三の矢となる成長戦略の一つとして、特区で先進的な医療が取り組まれていることに対し、人間の健康と生命を経済成長の一つの糧とすることに疑問を投げかけるとともに、新しい成長産業の創成は政治学で考えられるべきであると指摘した。また、社会基盤の大きな変化の中での外交の大切さを訴える一方、厳しい国際状況に立たされている日本では特に、言葉の重み、政治的なセンスが重要になってきているとの私見を示した。

最後に、府医役員改選について、立候補が定数内であったため選挙は行われず、代議員会での承認が得られれば6月から新執行部が発足することを報告。これまで以上に積極的な地域医療への取り組みを展開し、医師会として成長を続けていく意気込みを示すとともに、地区医とも協力して京都の地域医療を守り、発展させていくとの意欲を示した。

△報告ならびに協議事項

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の公布等状況報告書について（松井理事）

産業廃棄物を排出し産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付した医療機関について、その交付等状況報告書の提出が必要であると説明。平成24年4月1日から平成25年3月31日までに交付した産業廃棄物管理票（マニフェスト）の内容（産業廃棄物の種類、排出量、委託業者等、産業廃棄物管理票に記載した内容）を1年分まとめて平成25年6月30日までに、医療機関所在地の行政担当部署へ提出してほしいと依頼した。

2. 最近の中央情勢について（城守理事）

平成25年4月下旬から平成25年5月中旬にかけての社会・医療保険状況について、社会保障制度改革国民会議での議論を中心に説明した。

3. 京都市高齢者インフルエンザ予防接種について（藤田理事）

京都市の高齢者インフルエンザ予防接種料金について、これまで1,500円、無料の2種類であったのを、平成25年度は所得に応じて2,000円、1,500円、1,000円、無料の4種類に細分化されることを紹介。府医としては基本的に反対の姿勢を示してはいるものの、既に市会で承認されていることから、市民が予防接種を受ける際に必要な負担額証明書（兼予防接種券）の交付方法や、医療機関側の請求方法等について、市民・医療機関ともに負担とならない方法を協議していることを報告。意見があれば府医事務局地域医療1課までご連絡いただくよう依頼した。

4. 鳥インフルエンザA（H7N9）対策について（藤田理事）

2009年の新型インフルエンザ患者発生時には保健所に「発熱外来」を設け対応したものの、混乱のもとになったことから、今回は「帰国者・接触者外来」を立ち上げ、罹患者が増えれば出務の要請があると説明。特定接種及び住民に対する予防接種は集団接種を原則

としており、特定接種者数算定のもととなる業務従業者総数の推計が全業種で 2,120 万人に上ることから、出務医の確保等の対策も必要であると説明した。

また予防接種の事業主体は市町村であることから、地域の実情に応じた柔軟な対応を図るためにも、国、府が作った行動計画を各市町村に提示し、さらに市町村でもある程度独立性を持った案が作られることになるとして、各地区医に対して立案の協力要請がある可能性を示すとともに、特措法の解説（概要）等を確認の上、集団予防接種、外来の立ち上げ等の参考にしていただきたいと依頼した。

5. JMAT 京都医師登録一次募集のお知らせについて（濱島理事）

日医が昨年から JMAT の各都道府県単位での構築を提唱していることを受け、これまで府医災害対策小委員会で検討を重ねてきたことを報告。医師を中心に看護師、薬剤師等多職種協働で「JMAT 京都」を構築するための第一段階として、京都府内のすべての医師を対象に、登録募集を始めると案内した。日医による傷害保険等の補償もあり、当面は京都府内全域の派遣と、府医と他都市医師会との災害支援協定に基づく県外派遣を想定していると説明。登録医師がチームを組み、2泊3日で出務する仕組みを、府医として組織し支援する構想を示した。併せて、10月6日（日）に開催を予定している災害医療研修会を紹介し、周知を依頼した。

6. 前立腺がん検診講習会について（上田理事）

と き 6月27日（木）午後3時30分～5時

と ころ 京都府医師会館

昨年10月から京都市在住の50歳以上の男性に対し前立腺がん検診が始まっていることに触れ、質の担保のため上記の通り講習会を開催することを紹介した。対象者は府医会員で、多数の応募と協力を呼びかけた。（京都医報 2013年6月1日号（No. 2006）地域医療部通信参照）

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

6月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、積極的な参加を呼びかけた。

8. 第39回京都医学会について（小野理事）

今年度は9月29日（日）に「第39回京都医学会」を開催することを紹介し、会員各位の積極的な参加と一般演題への応募を呼びかけた。（京都医報 2013年5月15日号（No. 2005）付録参照）